

歯学部

I	教育水準	教育 20-2
II	質の向上度	教育 20-4

I 教育水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

1. 教育の実施体制

期待される水準にある

[判断理由]

「基本的組織の編成」については、教育上の課題を扱うため、学務委員会が毎月開催され、教育組織は適切に編成されているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制」については、教育内容、教育方法の改善に向けて教授会、教育計画検討委員会、学務委員会という体制の下で、教育内容や教育方法の改善に向けた取組が行われている。その結果、新カリキュラムの設定や新科目の立ち上げ等授業内容の改善に結びついているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、歯学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育の実施体制は、歯学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

2. 教育内容

期待される水準にある

[判断理由]

「教育課程の編成」については、当該学部では、全学教育科目と専攻教育科目が楔形に配置された6年間の一貫教育課程を編成し、専攻教育においては、学年が上がるにつれて基礎系科目中心から臨床系科目中心へと授業科目を配置しているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「学生や社会からの要請への対応」については、共用試験の導入、大学院連携科目の設定、3年次編入制度、文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラムの採択等、学生の多様なニーズ、社会からの要請等に対応している。特に、臨床実習前の国家試験ともいえる共用試験における学生の成績は優れているなどの優れた取組を行っていることから、期待される水準を上回ると判断される。

以上の点について、歯学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育内容は、歯学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

3. 教育方法

期待される水準を上回る

[判断理由]

「授業形態の組合せと学習指導法の工夫」については、当該学部の教育目的を達成するために、講義、演習、実習等の授業形態がバランス良く組み合わせられており、それぞれの教育内容に応じて視覚素材を活用したり、ウェブサイト上に教育資材を配置するなどの適切な学習指導法の工夫がなされているなどの優れた取組を行っていることから、期待される水準を上回ると判断される。

「主体的な学習を促す取組」については、学生の主体的な学習を促すため、自習室や情報機器室の設置、e-learning の積極的活用等の取組が行われている。また、ほぼすべての授業科目を必修化する等の単位の実施化への配慮がなされているなどの優れた取組を行っていることから、期待される水準を上回ると判断される。

以上の点について、歯学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育方法は、歯学部が想定している関係者の「期待される水準を上回る」と判断される。

4. 学業の成果

期待される水準を上回る

[判断理由]

「学生が身に付けた学力や資質・能力」については、少ない留年率や高い卒業率、また、ほぼ 90%以上を維持している歯科医師国家試験合格率等から、教育の成果や効果は上がっているなどの優れた成果があることから、期待される水準を上回ると判断される。

「学業の成果に関する学生の評価」については、教育の現状や効果に対する学生の意見聴取の結果から、学部教育の成果・効果を認める意見が大半を占めており、教育の成果や効果が上がっているなどの優れた成果があることから、期待される水準を上回ると判断される。

以上の点について、歯学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、学業の成果は、歯学部が想定している関係者の「期待される水準を上回る」と判断される。

5. 進路・就職の状況

期待される水準にある

[判断理由]

「卒業（修了）後の進路の状況」については、過去4年間における学部卒業後の進路状況において、平成19年度その他17名は臨床研修医にならない理由が不明である。しかし、臨床研修医の約4分の1はその後大学院へ進学していることは、指導的歯科医師の養成という点で教育の成果や効果があがっていることは相応な成果であることから、期待される水準にあると判断される。

「関係者からの評価」については、就職先等の関係者からの意見聴取等から、医療人としての自覚や倫理観に優れているという結果が得られており、将来にわたって自主的学習を続けていく意欲が養成されたという点で教育の成果や効果が期待以上に上がっていることは優れた成果であることから、期待される水準を上回ると判断される。

以上の点について、歯学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、進路・就職の状況は、歯学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

II 質の向上度

1. 質の向上度

大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している

当該組織から示された事例は4件であり、そのすべてが、「大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している」と判断された。